
大学院薬学研究科の理念

「昭和大学大学院薬学研究科は、薬学に関する先端的かつ独創的な研究を推進する研究者、高度な専門性を発揮する薬剤師、高い知性と感性をもち新たな分野に挑戦する教育者を養成することで、人類の幸福に寄与する。」

薬学研究科カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成方針)

1. 生命科学の基盤の上に、薬学並びに関連諸分野に関する深い洞察力と専門的知識の修得に加えて、課題探求能力を備えた研究者並びに高度な知識と技術を有する専門職業人養成のための教育を行う。
2. 薬学研究科の教育は、講義、演習、輪講および学位論文の作成等に対する指導により行う。
3. 医療人および薬学研究者として必要な研究倫理の修得のため、研究倫理教育を行う。
4. 薬学研究を実施していく上での知識と技術を深めるために、昭和大学大学院全研究科に共通した科目を開講すると共に、積極的に共同研究の機会を提供する。
5. 研究成果を国内外の学会・研究会、雑誌等に発表し、幅広い視野をもって成果を発信する能力を養う。

薬学研究科ディプロマ・ポリシー (修了認定・学位授与に関する方針)

「至誠一貫」の精神のもと、高度な薬学研究に取り組み、国民の健康増進と福祉に寄与できる優れた人材を育成することを目標とする。この目標を達成した者に、博士（薬学）を授与する。

1. 医療・健康・生命科学の中において薬学に関する深い学識と専門性、高度な思考・判断能力を有する。
 2. 多様な学術的連携・協調をもち、薬学領域の研究を先端的・独創的に推進する能力を有する。
 3. 円滑なコミュニケーションのもと、国際的視野に立ち、成果を社会へ情報発信できる。
 4. 生涯にわたり研鑽をし、社会との架け橋となる自覚を有する。
 5. 博士（薬学）として強い責任感、高い倫理観、豊かな人間性を持ち、薬学領域でリーダーシップを発揮し、後進を育成できる能力を有する。
-